

「情報公開文書」

単機関研究用

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります、個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

救急外来における急性中毒の処置の変化に関する研究

1. 研究の対象

2010年1月1日 から 2024年12月31日 までの間に、当院の救命救急科で急性中毒の治療を受けられた方

2. 研究実施期間

(機関の長の許可日) から 2027年3月31日 まで
25-623

3. 研究目的・方法

目的：下記の診療方法等を利用し、急性中毒における救急外来での胃洗浄、活性炭、気管挿管、画像検査の実施状況を解明することを目的とした研究を実施いたします。当院の救急外来において急性中毒の初期診療を受けられた方の診療録をもとに、研究者が服用した薬物、服用から来院までの時間、救急外来での処置と検査のデータを選び、その関連性について調べます。

方法：この研究に使用する情報として、診療情報から項目4に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・診療情報等：年齢、性別、服用薬物、服用時間、来院時間、既往歴、内服歴、身体所見、救急外来での処置（胃洗浄、活性炭、気管挿管）、救急外来での画像検査、血中薬物濃度、救急外来の転帰（入院、帰宅）、救急外来での処置を実施していない理由
- ・試料：なし

5. 情報の提供先・提供方法

他機関への情報提供はありません。

6. 利益相反に関する事項

この研究は、学事予算を使用します。なお、特定企業からの資金提供はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：6773）

研究責任者・問い合わせ担当者 救命救急科 山本 理絵